

平成26年1月21日

三次市長 増田 和俊 様

三次市行財政改革推進審議委員会
会 長 橋 本 康 男

三次市 市民と行政の行財政改革のためのメッセージ

当審議委員会は、平成25年7月2日に発足して以来、計4回にわたって会議を開き、これからの三次市の行財政改革のありたい姿を考え、意見交換を重ねてきました。

これらの協議結果は次期の三次市行財政改革大綱に向けて生かしていきませんが、時代環境の急速な変化を考えると、できることから今すぐ始めていくべきと考え、これまでの協議内容を三次市行財政改革の活動方針としてまとめ、審議委員会委員からの「市民と行政の行財政改革のためのメッセージ」としてお伝えすることにしました。

貴職におかれましては、三次市が、中国山地の十字路そして拠点として、その魅力と可能性を伸ばし、誰もが充実した暮らしを楽しめるまちとなるために、本メッセージの思いを尊重して、行財政改革の一層の推進に市民と共に取り組んでいかれることを期待します。

【三次市行財政改革推進審議委員会】

会 長	橋 本 康 男
副会長	堀 江 斎
委 員	湯 藤 浩 康
委 員	富野井 利 弘
委 員	廣 中 寛
委 員	田 村 眞 司
委 員	新 宅 悦 子
委 員	小 川 治 孝
委 員	安 藤 由 子
委 員	新 藤 栄 子
委 員	山 根 満由美
委 員	元 吉 吉 樹

三次市 市民と行政の行財政改革のためのメッセージ

三次市行財政改革の活動方針

〔 共感， 決断， 行動 〕

三次市行財政改革の基本理念「透明，参加，選択」に基づいて，
「共感，決断，行動」を基本に，
温かな心と冷静な目を持つ実行力ある信頼される行政を，
市民と職員が一緒に考え実現していきましょう

共感

対話と共感を大切に，市民と協働するまちづくり

＊市民との対話を大切にして，その力を引き出し生かす行政

決断

社会変化を的確につかみ，変革を生み出す決断力

＊方向性と優先度の的確な判断で，未来へ向けて決断する行政

行動

スリムでフットワークの良い，行動する組織づくり

＊職員一人ひとりが自ら考え，創意工夫し行動する行政組織

〔行財政改革推進審議委員会からのメッセージ〕

人口減少が進む中でも，三次市は，中国山地の十字路としての拠点性を生かし，その魅力と可能性を伸ばし，市民が自信と誇りを持って誰もが充実した暮らしを楽しめるまちをめざしていききたいと思います。

そのためには，共感と決断を元に，フットワーク良く行動する行政と堅実な財政運営の実現のために，市民と職員が力を合わせて一緒に取り組んでいくことが必要です。

変化を生み出していくためには，これまでの延長線上ではない新たな行政の姿，特に市民と地域の力を引き出し応援し共に働く行政の実現が求められているのです。

「未来の三次市民に夢を持てる地域を引き継ぐための行革」「社会の不条理を正し幸せな地域をつくるために限られた資源を有効に使う行革」，「萎縮ではなく発展，理屈ではなく実行の行革」という三次市の行革基本理念の思いは変わっていません。

三次市行財政改革推進審議委員会では，「透明，参加，選択」の行革基本理念に加え，「共感，決断，行動」を活動方針とした行革のさらなる推進を提案します。

私たちは，これを人の体に例えて，心と頭と体と表現しました。すなわち，対話を大切にして市民の思いと共感する「心」，社会環境の変化を的確に捉え信頼できる決断をする「頭」，そして，必要なことに機敏に力強く取り組む行動する「体」です。

この3つのバランスのとれた，共感力と決断力と行動力のある信頼できる行政を実現するために，市民と職員が共に考え行動していくべきだと考えました。

私たちは，明るい夢のある未来を拓くために，市民や企業・団体など三次市のすべての構成員が参加して，真に必要な行財政改革を責任を持って進めていきたいと思っています。

■ 三次市行政に期待する姿

○ [共感] 市民との共感力（心）

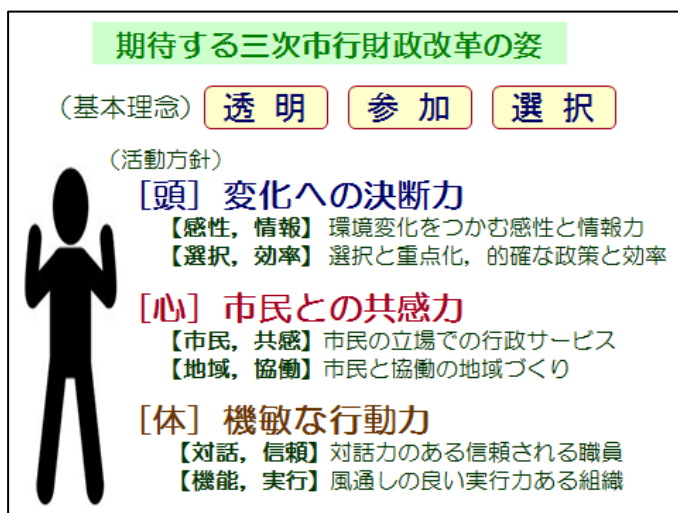
- ・ 市民，共感
市民の立場での行政サービス
- ・ 地域，協働
市民と協働の地域づくり

○ [決断] 変化への決断力（頭）

- ・ 感性，情報
環境変化をつかむ感性と情報力
- ・ 選択，効率
選択と重点化，的確な政策と効率

○ [行動] 機敏な行動力（体）

- ・ 対話，信頼
対話力のある信頼される職員
- ・ 機能，実行
風通しの良い実行力ある組織



※ 以下に，行財政改革の取り組みのために出された意見を紹介します。

1 行政に期待する能力，体制，取組み

(1) 市民との共感力 [心]

○ 【市民，共感】 市民の立場での行政サービス ～人材活用，思いやり～

＊対話力と共感力のある行政，自身も市民であるという意識を大切にする職員
 [例えばこんな]

- ・ 本当に困っている人を助ける優しさ，ぬくもり，思いやりのある行政
- ・ 市民がいきいきと暮らせる三次市のまちづくりを，痛みも含めてみんなで共有し，市民と共に考え躍動感を持って取り組む明るい行政
- ・ 行政サービスは市民が選べないことから，常に市民ニーズを考えて提供する行政
- ・ 単なる経費節減ではなく市民サービスの低下を避ける工夫と行動
- ・ 女性や高齢者が元気に活躍できる機会を提供する社会づくり

○ 【地域，協働】 市民と協働の地域づくり ～対話と協働，地域づくり～

＊市民の思いへの共感と協働，市民と地域を主役として地域の力を引き出す行政
 [例えばこんな]

- ・ 積極的に情報公開し，市民との対話を深め，それぞれの役割を共に考える行政
- ・ 市民と行政のつながりを深め，地域の力を引き出し協働する行政
- ・ 地域を愛する心を育て，市民と共に課題解決に取り組む行政
- ・ 補助金を見直し地域の自発的取組みを支援する資金提供で住民自治組織の強化

(2) 変化への決断力 [頭]

○ 【感性，情報】 環境変化をつかむ感性と情報力 ～情報分析，複眼的視点～

＊社会の動きの理解と対応，冷静で確かな目，三次市の未来への責任感
 [例えばこんな]

- ・ 市民起点で社会課題を見る確かな目と感性，優しさ，思いやり
- ・ 時代と社会の変化を複眼的視点で見て打つべき手を見極める的確な判断力
- ・ 幅広い多様な情報収集・分析力と，地域の魅力などを伝える情報発信力

○【選択, 効率】選択と重点化, 的確な政策と効率 ～戦略経営, 財政改革～

＊明るく夢のある未来のための優先度の判断

[例えばこんな]

- ・選択と重点化, トータルコスト意識によって限られた資源を活かす効率性
→我慢できる不便と我慢できない不便, 行政の果たすべき役割の見極め
→既存の資源の多面的な有効活用, 重点投資への合意形成, ハードからソフト
- ・優先課題の絞り込みや, 費用対効果・財務状況の分析, コスト削減等の仕組み
- ・人口減少の中で広大な市域を維持できる持続可能なインフラ整備の実現
- ・ある程度の受益者負担も含めた補助金・使用料等の見直しと各種の収入増加努力
- ・当面の交付税減額対応だけでなく長期的視野での財政運営と説明責任・情報発信
- ・前例によらない白紙からの支出の見直し, 決定・評価・見直し・改善の仕組み
- ・中国山地の十字路としての拠点性を生かし発展させる, 医療や物流など多様な分野での戦略的で大胆な取組み

(3) 機敏な行動力 [体]

○【対話, 信頼】対話力のある信頼される職員 ～人材育成, 意識改革～

＊感性と行動力・実行力のある職員, 自立とチャレンジ, フットワーク

[例えばこんな]

- ・職員の行動を引き出す意識改革と行動を評価する組織
- ・職員一人ひとりが真剣に行財政改革を考え, 創意工夫し自発性を発揮する組織
- ・市民や企業と本音で話せ協働できる職員, 地域づくりに参加する職員
- ・地域を知り地域の魅力を理解し売り出す職員, 地域を愛する職員
- ・女性職員や若手職員の活用など, 社会の変革を先導する組織づくり

○【機能, 実行】風通しの良い実行力ある組織 ～組織づくり, 組織経営～

＊スリムで反応性の良い組織, 頼りがいのある機敏な組織

[例えばこんな]

- ・「親方日の丸」でない機敏な行動ができる組織や新たな仕組の創出
- ・理念や理想, 思いをきちんと相手に伝える対話力と発信力・アピール力の強化
- ・組織機構の簡素化, 機能強化と部門横断的な取組強化
- ・主要課題に迅速・重点的・総合的に対応できる庁内連携の強化と市民との連携
→子育て, 教育, 婚活, 中高年層の福祉と活躍支援, 地域・集落の魅力開発・発信,
医療・物流・商業等の拠点性向上, 企業誘致, 市民誘致, 起業家支援など
→総合的な対応体制, チャレンジする体制・体質, 特命チームの設置など
- ・事業担当課や支所などの現場力を高める組織経営

2 これらを実現するために求められるもの

進捗状況が分かる指標の設定と実施状況の継続的な評価の仕組みづくり, 徹底した情報公開とともに, 行政としての使命感と責任感, そして危機感が不可欠です。

○ 行政の各部署の使命や役割の説明と成果の評価 [使命感]

- ・組織の使命と成果を分かりやすく説明する仕組みづくり

○ 投資・事業についての判断基準の整備と経費支出の大胆な見直し [責任感]

- ・投資・事業の必要性, 費用対効果等のチェックリストづくり

○ 変化を生み出す構造・体質改革 [危機感]

- ・自由に意見を言える組織風土改革, 変わらなければ困る仕組みづくり